



2026年10月15日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 マーキュリー
代表者名 代表取締役社長 CEO 陣 隆浩
(コード番号：5025 東証グロース)
問 合 せ 先 執行役員総務人事部長 猪俣 秀徳
(TEL：03-5339-0950)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2026年4月14日に公表した2027年2月期通期（2026年3月1日～2027年2月28日）の業績予想を下記のとおり修正しましたので、お知らせします。

記

1. 業績予想の修正

2027年2月期 通期業績予想数値の修正(2026年3月1日～2027年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,703	117	129	79	30.52
今回修正予想(B)	1,780	160	170	110	41.21
増減額(B-A)	77	43	41	31	
増減率(%)	4.5	36.8	31.8	39.2	
(ご参考)前期実績 (2026年2月期)	1,601	74	82	162	62.72

2. 修正の理由

売上高につきましては、2026年4月に実施したプラットフォーム事業の新築マンション事業者向けSaaSプロダクトの新料金体系への移行により、MRR（月額経常収益）が大幅に伸長し、当初予算を33百万上回る見通しとなりました。また、デジタルマーケティング事業におけるリスティング広告運用も堅調に推移した結果、当初予算を15百万円上回る見通しとなり、売上高の拡大の拡大を牽引しました。利益面につきましても、新築マンション事業者向けSaaSプロダクトの高い利益率が寄与したことで大幅な増益を見込んでおります。

なお、当社は中長期的なプロダクト強化に向け、下期よりAI関連の事業投資への積極的な開発投資を実施いたします。詳細につきましては本日公表します2027年2月期第2四半期（中間期）決算説明資料をご確認ください。

これらの結果、通期業績予想における営業利益、経常利益及び当期純利益が当初の想定を上回る見通しとなったことから、2027年2月期の通期業績予想値を上記のとおり修正いたします。

(注)上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上